

取扱説明書



V-TONE GM108

True Analog Modeling 15-Watt Guitar Amplifier with Original 8" BUGERA Speaker

目次

| | |
|--------------------|---|
| 安全にお使いいただくために..... | 3 |
| 法的放棄..... | 3 |
| 限定保証..... | 3 |
| 1. 概要 | 4 |
| 1.1 ご使用前に | 4 |
| 2. 接続の仕方..... | 4 |
| 3. コントロールパネル..... | 5 |
| 3.1 フロントパネル..... | 5 |
| 3.2 リアパネル..... | 6 |
| 4. 基本設定 | 6 |
| 5. オーディオ接続 | 7 |
| 6. 技術仕様 | 8 |
| 7. 付録 | 9 |

JP

安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのもの

です。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

技術的な仕様および製品の的外観は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関して一切の責任を負いません。色およびス

ペックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

製権所有

© 2013 MUSIC Group IP Ltd.

Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146, Road Town, Tortola, British Virgin Islands

限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 www.music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

JP

1. 概要

GM108 はエキサイティングなギタープレイを可能とする最もホットなギターアンプです。

クールなデザイン、ホットなサウンド。

当社独自の「V-TONE アナログモデリング」は、ギターアンプに関する前知識など全く必要とせず、世界で最も人気のあるギターサウンドを実現してくれます。この V-TONE GM108 では、指先一つで思いのままのサウンドがお楽しみいただけます。アンプサウンドを即座にチェンジしたい場合は、アンプもしくはスピーカー選択用のボタンを押すだけ。オリジナルのトーン設定と組み合わせれば数限りない独自サウンドをクリエイすることが可能です。ヘッドフォンを接続すれば隣人に迷惑をかけずに大いにプレイを楽しむことができるでしょう。しかし、以下の点にお気をつけください：

- ◆ 過大な音量は聴覚障害やヘッドフォン損傷の原因となる恐れがあります。アンプに電源を投入する際は、MASTER コントロールの左端のゼロの位置まで廻してください。常に適当な音量で演奏するよう心がけてください。

力強いパワーとチューブの暖かさ

V-TONE GM108 をフルゲインで使用すれば、リハーサルルームでもステージでも驚くほどのパワーを発揮します。アンプへの接続方法については図 2.1 と図 2.2 をご参照ください。「V-TONE アナログモデリング」を駆使したこの GM108 では驚くほど暖かみのあるチューブサウンドも実現します。艶やかで透明感溢れるクリーンサウンドからヘヴィなディストーションサウンドまで、すべてのギターサウンドがこの一台で可能となります。

さらに寝室での練習でも、リハーサルルームでのラウドな演奏でも、ボリュームの大小に関わらずこのサウンドをお楽しみいただけます。

いざジャムセッション!

V-TONE GM108 は CD 入力を装備しているため、お好みの音楽に合わせて演奏もできる優れた練習用アンプでもあります。近所迷惑を考慮する必要がある場所での練習ならヘッドフォンを接続してください。これには BEHRINGER HPS3000 ヘッドフォンがまさに最適といえるでしょう。

生涯のアンプ

V-TONE GM108 に採用されている電子部品の数々は、頑丈なスチール製ボックスによってしっかり保護されています。アンプのハウジングにはシザレットに覆われた高品質かつ環境に優しい MDF 木材が使用されています。GM108 はどんなにタフなステージングにも対応できる耐久性を備えています。

- ◆ この取扱説明書では、GM108 の持つ各機能の詳しい説明を行っていきます。説明書は一度読み終わった後も、必要に応じて読み返すことができるよう大切に保管してください。

1.1 ご使用の前に

GM108 は安全な輸送のために工場出荷時に十分な注意を払って梱包されていますが、万が一、包装ダンボールに損傷を発見した場合には、装置外部の損傷についても確認を行ってください。

- ◆ 装置が万一故障している場合には、保証請求権が無効となる恐れがありますので、当社へ直接返送せず、必ず販売店および運送会社へご連絡ください。

V-TONE GM108 の換気の確保に十分留意し、アンプの過熱予防のため、暖房器具等の側には絶対に設置しないでください。

2. 接続の仕方

下記に示す図ではギターとアンプの接続方法を説明しています。

ストップボックスおよびエフェクトペダルなどを使用したい場合は、ギターをエフェクト機器の入力端子に直接接続してください。エフェクト機器をアンプに接続するためにはもちろんもう一本のケーブルが必要となります。

- ◆ チューナーをお持ちの場合は、エフェクター信号による干渉を防ぐためチューナーをエフェクト機器より前に接続してください。

ヘッドフォンをアンプに接続すると、アンプは自動的にミュートされます。

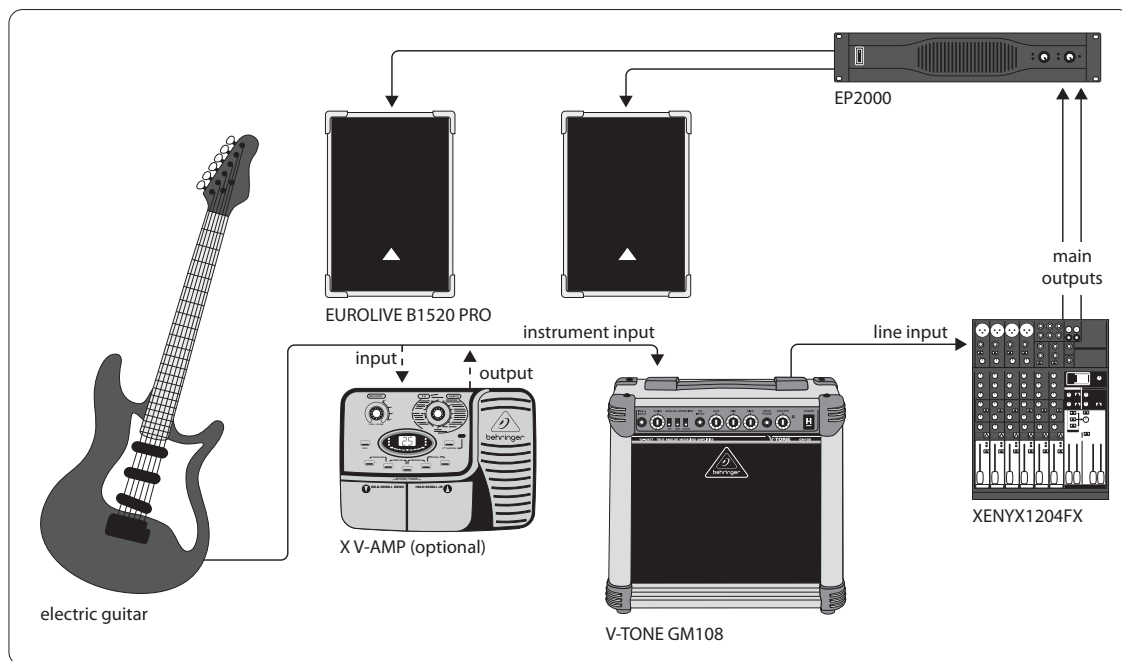


図 2.1: V-TONE GM108 セットアップ (例)

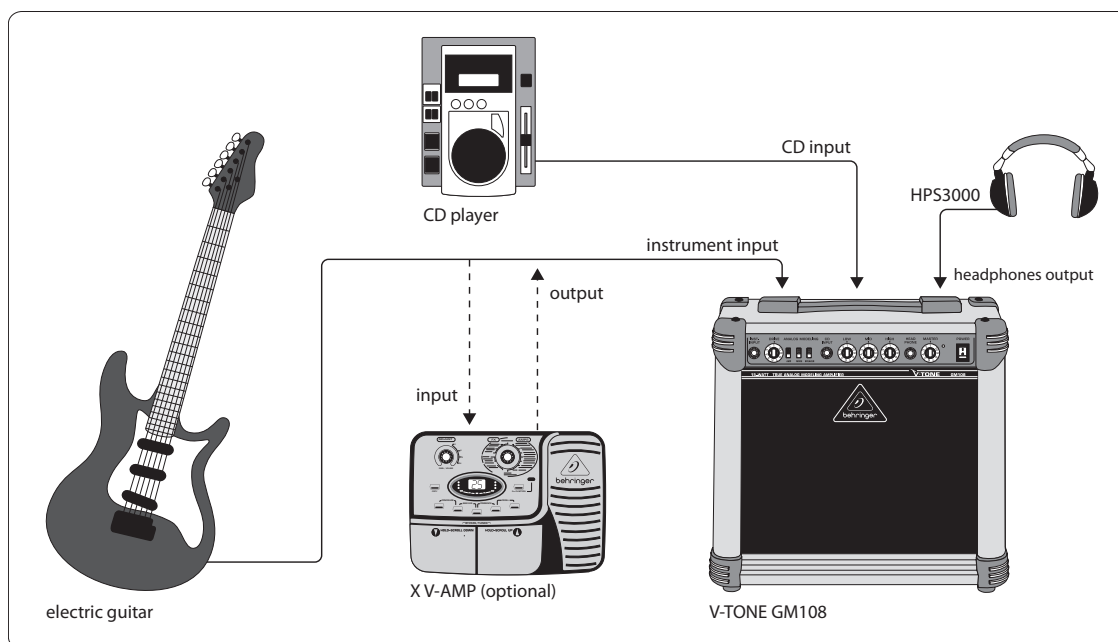


図 2.2: ライブ用セットアップ (例)

図 2.2 では GM108 を PA システムに組み込んだ場合の接続例を示しています。バンドを伴い大音量で演奏する際にはこうした接続例が使用されます。

3. コントロールパネル

3.1 フロントパネル

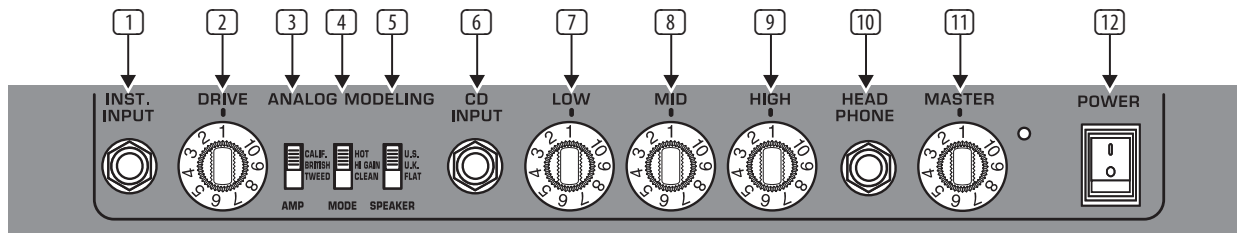


図 3.1: フロントパネル

① この INST(RUMENT) INPUT 端子にギターを接続します。接続には標準的な 6.3 mm TS フォンジャックを使用してください。

② DRIVE コントローラーはディストーションの掛かり具合 (レベル) を決定する際に使用します (選択したアンプ、モード、スピーカーによって度合いは異なります)。この DRIVE コントローラーは MASTER コントローラーと影響しあうため、DRIVE コントローラーの調整によって音量も多少変化してしまいます。音量を同一に保つため、DRIVE を下げた場合は MASTER を若干上げる必要があります。DRIVE のレベルを上げれば上げるほど音量も大きくなりますので、音量の最終的な調整は MASTER コントローラーで行ってください。このようにして幅広いゲインコントロールを行いながら音量のコントロールができるわけです。

レベルアップヒント: ギターのボリュームコントロールを使って音量調整を行うことも出来ます。ボリュームを上げればそれだけディストーションも掛かります。

③ この AMP スイッチで、3 種類のギターアンプサウンドからお好みのモードを選択してください。

TWEED: 伝統的なアメリカンクリーンサウンドを再現。ダイナミックなベースと透明感が特徴です。

BRITISH: タフでパンチの効いた「アグレッシヴ」な中音域サウンドが特徴的です。最も有名なブリティッシュアンプによるクラシックロックサウンドが再現できます。

CALIF(ORNIAN): 華麗なリードプレイと堅実なバックングに向けたサウンドです。このサウンドこそがまさに Nu Metal バンドによくみられるカリフォルニアサウンドなのです。

④ MODE スイッチは、選択した AMP サウンドに適した 3 種類のトーンセッティング (**CLEAN**, **HIGAIN** and **HOT**) を行う際に使用します。各トーンセッティングの持つ特徴は以下のとおりです。

DRIVE コントローラーと併用することでお望みのサウンドを見つけてください。

CLEAN: 名前の通り、クリーンなサウンドです。ディストーションは掛かりません。

HIGAIN: クランチャーなサウンドから強力に歪んだサウンドまでを再現できます。

HOT: サステインの効いたヘヴィなディストーションサウンドです。高音域が強調されます。

- ③ **SPEAKER** スイッチはもう一つのパラメータ設定で使います。3種類のスピーカーシミュレーションの中から、好みのアンプに最も適したモデルをお選びください。

UK: 4x12 インチのクローズドバックタイプスピーカーです。

US: 2x12 インチの オープンバックタイプスピーカーです。

FLAT: GM108 用にデザインされたオリジナルスピーカーです。

- ⑥ CD プレイヤー、テープデッキ、もしくはウォークマンなどの出力部をこの **CD INPUT** 端子に接続します。MD プレイヤーも接続可能です。この端子を使用することで、音楽 CD やギターマガジンの付録 CD などに合わせてギターを演奏することが可能となります。ステレオに接続して行うことも可能ですが、その場合ヘッドフォンを通して両方のサウンドを聞くことはできませんのでご注意ください。

CD INPUT 端子は 6.3 mm TRS ステレオフォンジャック仕様となっています。お持ちの CD プレイヤーが RCA 出力端子しか備えていない場合にはアダプターもしくはアダプターケーブルが必要となります。両者とも一般的なオーディオ店で購入できます。第 5 章の図 5.3 ではアダプターケーブルについて説明しています。モノラルケーブル (図 5.4) を使用すればアンプも CD プレイヤーも損傷することはありません。

- ⑦ 低音をより強調したい場合には、この **LOW** コントローラーをフルに廻してください。

- ⑧ **MID** コントローラーは中音域のカットおよびブーストに使用します。

- ◆ 一人で演奏する場合は、高低音域よりもこの中音域を絞るとクールなサウンドとなりますが、バンドなどで演奏する場合には逆に中音域をブーストさせるとギターサウンドの存在感を出すことが出来ます。つまみを廻して色々試してみてください。

- ⑨ **HIGH** コントローラーは高音域の調節用です。ソリッドなサウンドにしたい場合はこの **HIGH** コントローラーを廻してください。

- ⑩ ヘッドフォンはこの **HEADPHONE** 端子に接続してください。ヘッドフォンを差し込むと、アンプは自動的に消音 (ミュート) 状態となります。

- ◆ ヘッドフォンによっては大音量の演奏の際に歪み (ノイズ) を伴ってしまうことがありますが、その際はノイズが消えるまで **LEVEL** コントローラーを絞ってください。

- ⑪ **LEVEL** コントローラーは V-TONE GM108 の総合的な音量を決定する際に使います。アンプに電源を投入する際は、この **LEVEL** コントローラーが必ずゼロ (左端) の位置に廻りきっていることを確認してください。「ボン!」という大きなノイズが発生し、あなたの聴覚およびアンプを痛める恐れがあります。

- ⑫ **POWER** スイッチで GM108 の電源を入れます。装置を主電源に接続するときは、このスイッチが OFF になっていることをご確認ください。

- ◆ **ご注意:** アンプのスイッチを切っただけでは電源が確実に切れたことにはなりませんので、長い間アンプを使用しない場合には、電源コードをコンセントから抜くよう心がけてください。

3.2 リアパネル

- ⑬ シリアルナンバー。V-TONE GM108 には保証カードがついています。保証条件を有効にするため、購入日から 14 日以内に必要事項を記入の上当社宛にカードをご返送ください。もしくは behringer.com 上でオンライン登録を行うことも可能となっています。

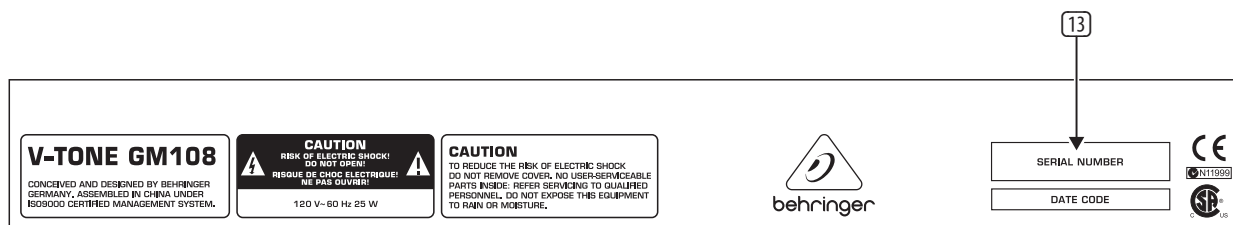


図 3.2: GM108 のリアパネル

4. 基本設定

以下に示す 5 つの図では V-TONE GM108 の基本的な設定方法をご紹介します。

各設定とも相互にまったく異なるサウンドデザインとなっているため、このアンプの柔軟なトーンコントロールを感じていただけるでしょう。これがあなただけのオリジナルサウンドをクリエイトするためのファーストステップとなります。

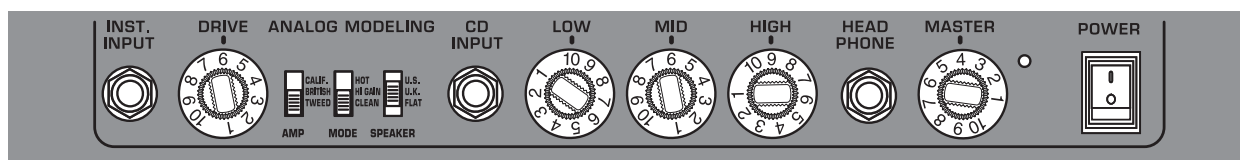


図 4.1: CLEAN 1 の基本設定

この設定はフィンガーピッキングに最適なクリアなサウンドが得られます。この設定にエフェクターを使用すると、エフェクター効果がより強調されて再現されるでしょう。

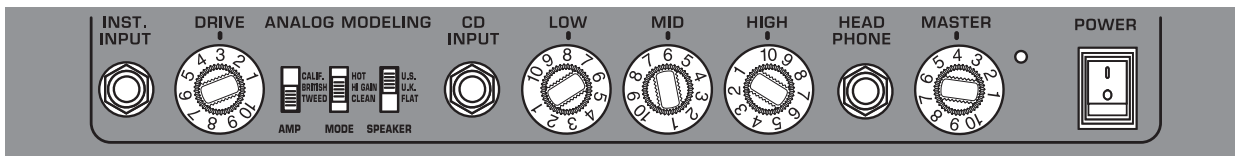


図 4.2: CLEAN 2 の基本設定

カントリー、ジャズ、ブルーズに最も適したセッティングがこれです。ギターネック部に最も近いピックアップ（フロントピックアップ）を使用して演奏すれば、よりリッチなクリーンサウンドが得られます。二つのピックアップを同時に使用すれば、より太く腰のあるサウンドとなります。

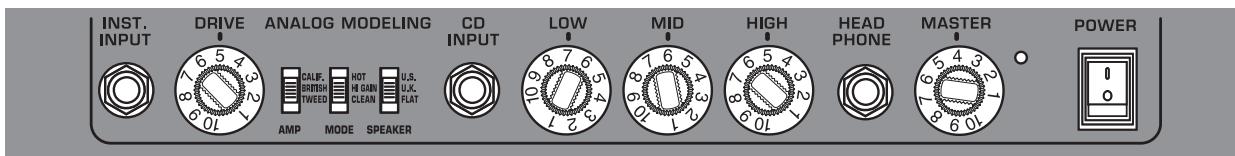


図 4.3: CRUNCH の基本設定

歪んだロックギタースタイルやパワーコードを多用するスタイルにもってこいの設定です。よりタイトなサウンドにするには、ネックから離れたピックアップ（リアピックアップ）を使用してください。

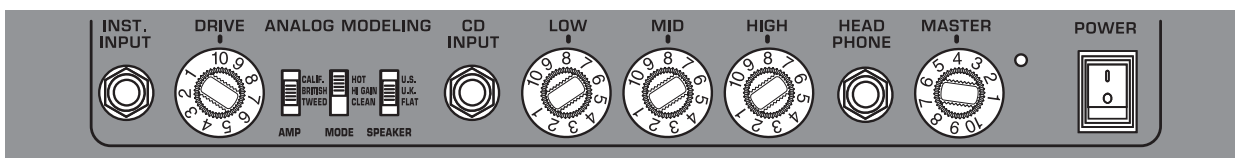


図 4.4: LEAD の基本設定

この設定は、エキサイティングでホットなロックギターサウンドに最適です。

限界の無いこのサウンドメイキングを通して、あなた自身の完全にオリジナルな演奏スタイルを見つけてください。

使用するギターの種類によって V-TONE GM108 のサウンドは変化してきます。しかし、ここでは、より気軽にギタープレイが始められるよう、ヒントを述べるにとどめておきましょう。後はあなたの腕次第です。

◆ **ギター自体に備えられたボリュームおよびトーンコントロールをなるべく最大限に絞ることで、ベストなギターサウンドが得られます。**

各コントローラーを自由に操り、お好みのギターサウンドがどのようにすれば得られるかを感覚で掴んでください。経験豊かなギタリストの多くは、自分のスタイルに合ったサウンドを見つけると、忘れないように書き留めているようです。9 ページ目では、あなた自身のお好みのサウンドを記録することが出来ます。

一口メモ: 9 ページ目をコピーして使用すれば、いくつかの設定が記録できます。

5. オーディオ接続

BEHRINGER V-TONE GM108 のギター入力端子は 6.3 mm TS フォンジャックとなっています。

◆ **すべての機材にアースが施されていることをご確認ください。お持ちの機材及びケーブルのアース交換およびアース除去は非常に危険ですので絶対に行わないでください。**

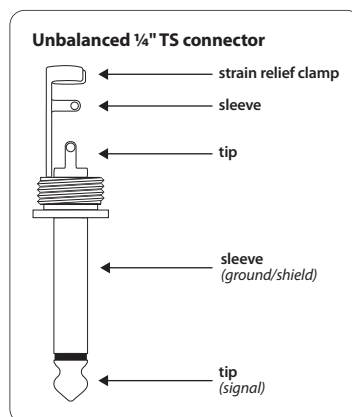


図 5.1: INSTRUMENT INPUT 接続用アンバランス型 6.3 mm TS フォンジャック

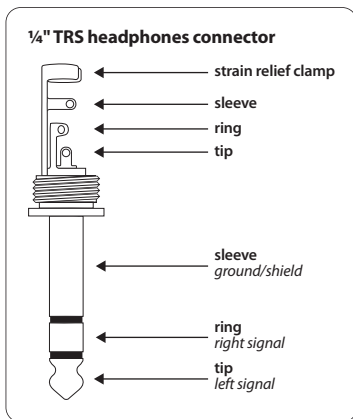


図 5.2: CD INPUT 接続用ヘッドフォン端子

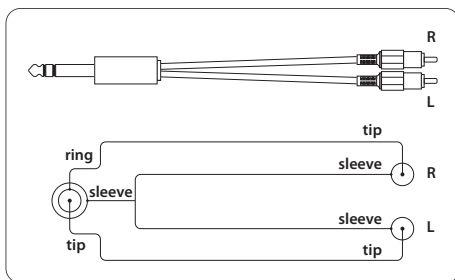


図 5.3: ステレオアダプターケーブル

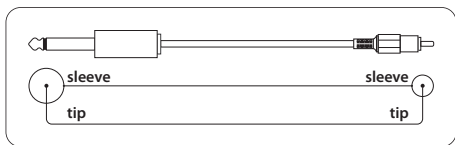


図 5.4: モノラルアダプターケーブル

6. 技術仕様

オーディオ入力

| | |
|-----------|-----------------------|
| ギター入力コネクタ | 6.3 mm TS モノラルフォンジャック |
| CD 入力コネクタ | 6.3 mm TRS ステレオコネクタ |

オーディオ出力

| | |
|--------------|---------------------|
| ヘッドフォン出力コネクタ | 6.3 mm TRS ステレオコネクタ |
|--------------|---------------------|

システムデータ

| | |
|----------|----------------|
| パワーアンプ出力 | 15 W RMS、4 オーム |
|----------|----------------|

スピーカー

| | |
|---------|-----------------------|
| タイプ | 8" ピンテージデザイン・ギタースピーカー |
| インピーダンス | 4 オーム |
| 定格出力 | 20 W |

電源供給

供給電圧

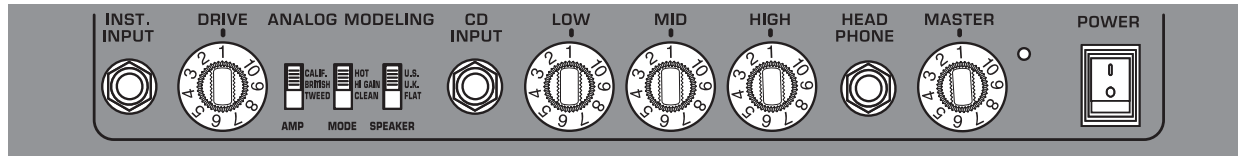
| | |
|-------------------|--------------------|
| 米国 / カナダ | 120 V~, 60 Hz |
| 欧州 / 英国 / オーストラリア | 230 V~, 50 Hz |
| 日本 | 100 V~, 50 - 60 Hz |

外形寸法 / 重量

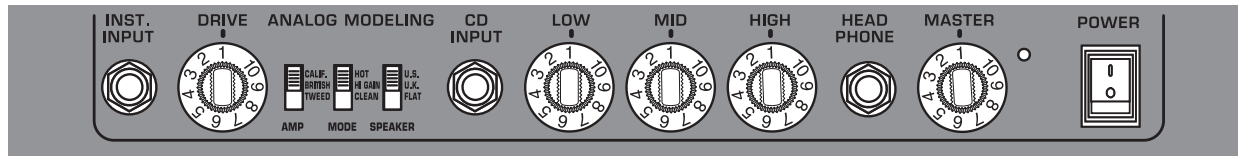
| | |
|------------------|--|
| 寸法 (高さ x 幅 x 奥行) | 約 322 x 357 x 162 mm (約 12 1/16 x 14 1/16 x 6 3/8") |
| 重量 | 約 5.15 kg (約 11.3 lbs) |

BEHRINGER 社は、最高品質水準の維持にむけた努力を常時おこなっています。必要とみなされた改良等は予告なくおこなわれますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違することがあります。

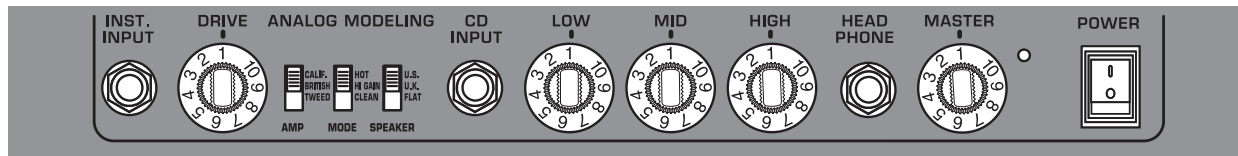
7. 付録



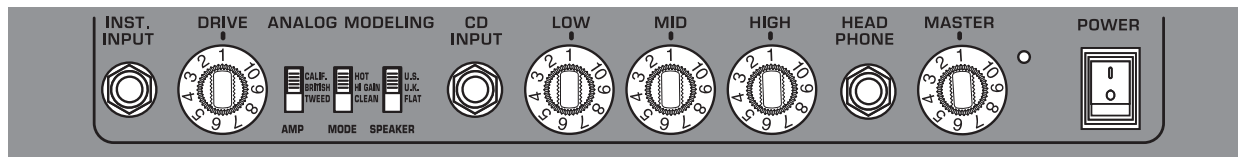
| Drive | Amp | Mode | Speaker | Low | Mid | High | Master |
|-------|-----|------|---------|-----|-----|------|--------|
| | | | | | | | |
| | ×毛: | | | | | | 曲: |



| Drive | Amp | Mode | Speaker | Low | Mid | High | Master |
|-------|-----|------|---------|-----|-----|------|--------|
| | | | | | | | |
| | ×毛: | | | | | | 曲: |



| Drive | Amp | Mode | Speaker | Low | Mid | High | Master |
|-------|-----|------|---------|-----|-----|------|--------|
| | | | | | | | |
| | ×毛: | | | | | | 曲: |



| Drive | Amp | Mode | Speaker | Low | Mid | High | Master |
|-------|-----|------|---------|-----|-----|------|--------|
| | | | | | | | |
| | ×毛: | | | | | | 曲: |



We Hear You